

# 「実務」で就労促進

## 精神障害者訓練「一般企業」へ意欲

精神障害者が一般企業で働けるよう目指したロールプレー型の職業訓練が注目を集めている。富士ソフト企画(神奈川県鎌倉市)の人材開発グループ長でカウンセラーの佐織寿雄さん(41)が03年から行っており、04年

からは厚生労働省の委託訓練事業として福祉団体や医療機関と連携した職業訓練を東京都などでも計4回実施。訓練に参加したことのある統合失調症の男性(38)は「内職中心の福祉作業所では自立への見通しは立たないの

が現実。今は就職に近づいている実感がある」と話している。訓練は約15人が週5日、約3カ月間でホームページ(HP)作成などのパソコン技術や顧客との取引や電話対応など実務を学ぶ。上司や部下と

いった配役を設定。1人1台ずつのパソコンを使うほか「会議の文書をメールで送りました。ご確認ください」「分かりました」など、企業内の実務を想定した電話のやり取りをし、HP作成などのプロジェクトチームを組んで最終的にプレゼンテーションも行う。

同社では就職後も社内のカウンセラーがこまめに面談し、職場との橋渡しや人事異動の提案などを行うっていくという。うつ病で転職を繰り返し8月に同社に就職した東京都東大和市、福岡信治さん(41)は「病気を打ち明けると『辞めてくれ』と切り出されたこともあ

る。障害への理解が得られる環境がありがたい」と話す。また、委託訓練事業の一環で外部の企業にそうした取り組みを見学してもらっている。厚労省によると、精神障害者の民間企業(従業員56人以上)への就職者数は06年6月現在で約2000人。全国で就業する知的障害者は約4万4000人だが、障害を明らかにして働く精神障害者の就業率は1%以下。同社はソフトウェア開発会社「富士ソフト」の特例子会社でHPなどを作成しており、精神障害者の採用企業でも多くは10人前後にとどまる中、国内最多の48人を採用。佐織さんは「精神障害は社会生活の中でこそ回復する」と就労の重要性を訴えている。

【中川聡子】

ロールプレー型訓練に  
企業も参加すべき?



え・香取泰行

暮らし 話題 事件

MAINICHI  
**新 毎 日 新 聞**